



2020年3月期 決算説明会

聖岳（百間平から）



特種東海製紙株式会社



目次

・ 会社概要	(p1)		
2020年3月期連結決算概要		「成長戦略・海外戦略」	
・ 期末連結業績実績	(p2)	・ 研究開発の成果 : 紙を超えたシート状物の用途展開	(p14)
・ 営業利益の増減要因(2020年3月期)	(p3)	・ 海外展開 : ファンシーペーパー	(p15)
・ セグメント情報	(p4)	・ : 保護紙・偽造防止用紙	(p16)
		・ パッケージ分野の強化: パッケージ事業本部の新設	(p17)
2021年3月期連結業績見通し		・ : 新商品開発	(p18)
・ 2021年3月期連結業績見通し	(p5)	・ (株)トライフの成長戦略	(p19)
・ 営業利益の増減要因(2021年3月期見通し)	(p6)	・ 新型コロナウイルス関連商品の開発	(p20)
第四次中期経営計画の着地		「環境関連ビジネス」	
・ 第4次中期経営計画の総括	(p7)	・ 資源再活用本部 : 駿河サービス工業の子会社化	(p21)
・ 過去の連結数値と今中計(NEXT10)	(p8)	・ : リサイクルビジネスの拡大	(p22)
・ 中計最終年度 営業利益 着地	(p9)	・ 自然環境活用本部 ①社有林関連事業の分社化	(p23)
・ 第5次中期経営計画について	(p10)	・ ②ウイスキー事業の開始	(p24)
「基盤事業の強化・変革」		「その他の取り組み」	
・ 産業素材事業本部	(p11)	・ SDGsに関連する取り組み (1)	(p25)
・ 特殊素材事業本部	(p12)	・ (2)	(p26)
・ 生活商品事業本部- (株)トライフ技術開発 -	(p13)		



会社概要

- 社名 特種東海製紙株式会社
- 本店所在地 静岡県島田市向島町4379番地
- 設立 2007年4月
- 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 松田 裕司
- 資本金 11,485百万円
- 従業員数(連結) 1,576名(2020年3月)
- 事業内容 紙・パルプの製造、加工、販売
- 工場 三島、島田、岐阜、その他



2020年3月期 連結決算概要



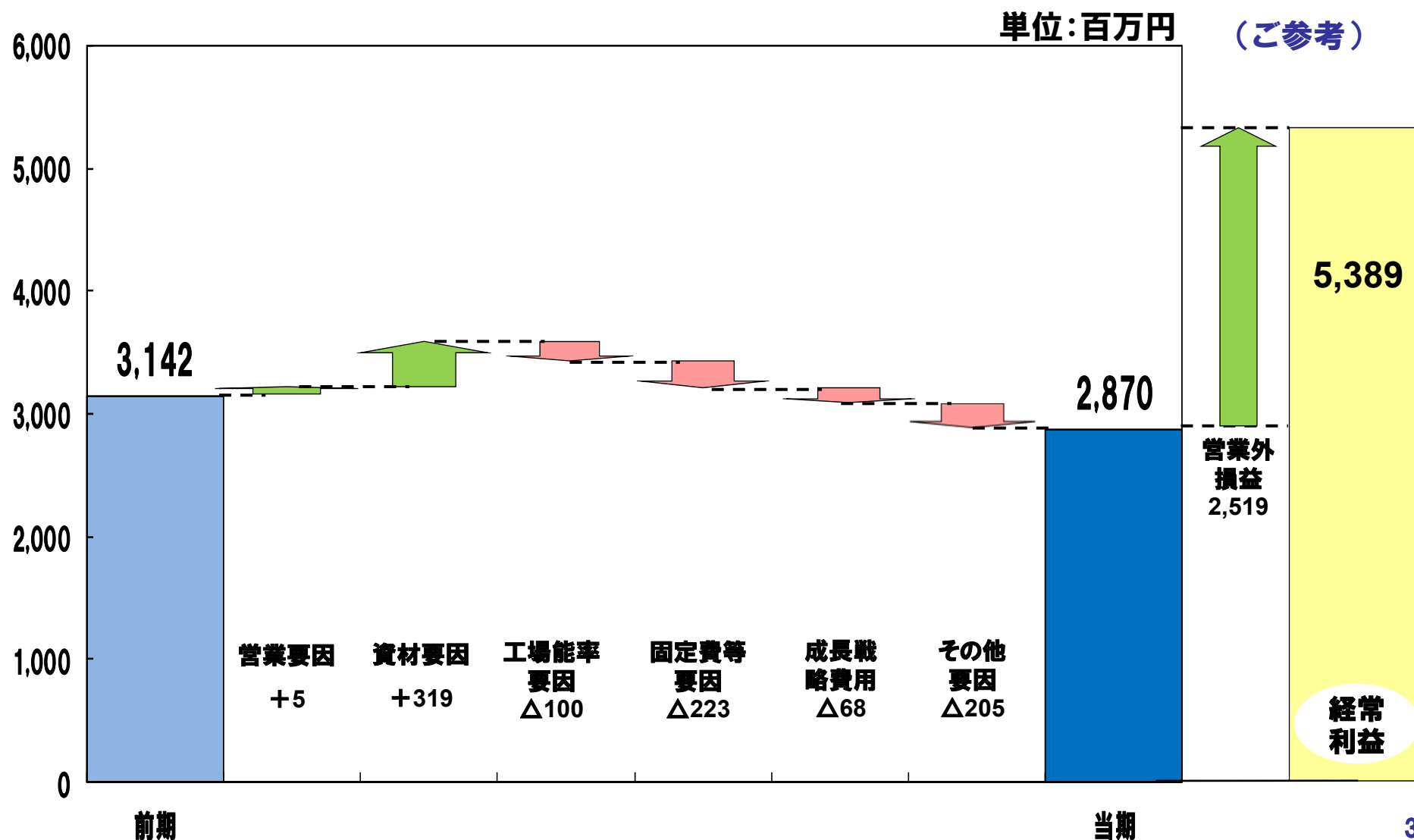
期末連結業績実績

(単位:百万円)

	前期実績	当期実績	増減
売上高	81,901	80,603	△1,298
営業利益	3,142	2,870	△272
経常利益	5,353	5,389	36
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,212	3,694	△518
売上高 営業利益率	3.8%	3.6%	—

※ 当連結会計年度より表示方法の変更を行っており、当該表示方法の変更を反映した前期数値と比較して記載しております。

営業利益の増減要因(2020年3月)



セグメント情報

単位:百万円

		2019年3月期	2020年3月期	増減
産業素材事業	売上高	41,107	39,159	△1,948
	営業利益	1,125	1,039	△86
特殊素材事業	売上高	22,566	21,911	△655
	営業利益	1,668	1,271	△397
生活商品事業	売上高	18,132	17,860	△272
	営業利益	280	536	256
環境関連事業	売上高	6,958	6,759	△199
	営業利益	406	121	△285
消 去	売上高	△6,865	△5,087	1,778
	営業利益	△338	△97	241
合 計	売上高	81,901	80,603	△1,298
	営業利益	3,142	2,870	△272

※ 当連結会計年度より表示方法の変更を行っており、当該表示方法の変更を反映した前期数値と比較して記載しております。



2021年3月期連結業績見通し



2021年3月期連結業績見通し

(単位:百万円)

	当期実績	今期見通し	増減
売上高	80,603	81,000 <u>当初計画(83,000)</u>	397
営業利益	2,870	2,000 <u>当初計画(3,100)</u>	△870
経常利益	5,389	未定 <u>当初計画(4,700)</u>	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,694	未定 <u>当初計画(3,300)</u>	—
売上高 営業利益率	3.6%	2.5%	—

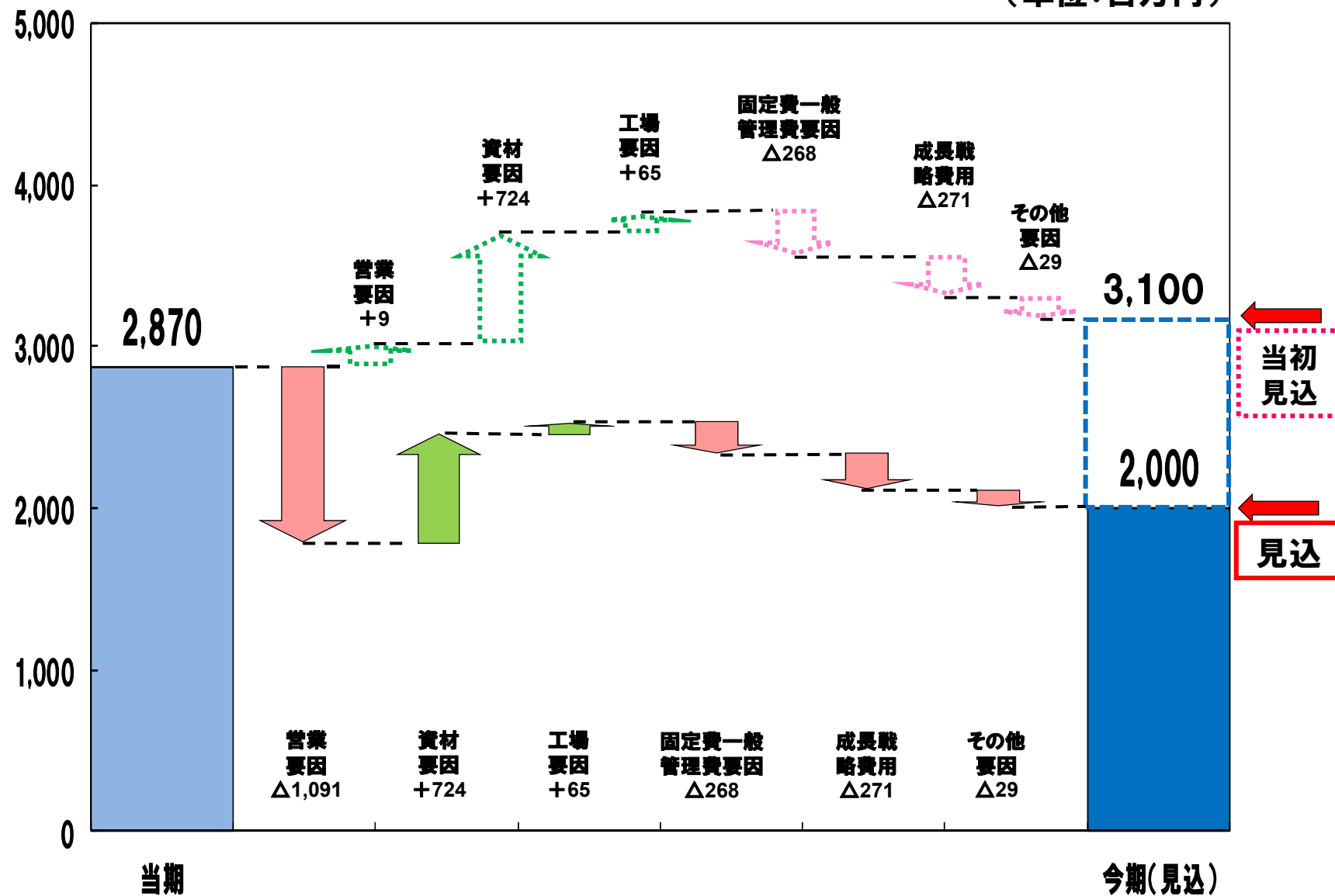
※ 当初計画とは、新型コロナウイルス感染症による影響が無い場合の当初見通し金額となります。

前提 為替レート 上期110円/US\$ 下期110円/US\$

原油価格(ドバイ) 上期65\$/B 下期65\$/B

営業利益の増減要因(2021年3月期見通し)

(単位:百万円)





第四次中期経営計画の着地 (2017年度～2019年度)

NEXT 10
～ 次なる成長 次なる挑戦 ～



第4次中期経営計画の総括

- ・ “NEXT 10 ～次なる成長 次なる挑戦～”と題し、10年後を見据えた成長施策を企画・遂行。
- ・ 基幹3事業を中心に着実に施策を実行。

基幹3事業の総括

達成項目	産業素材事業	✓ コスト削減等の基盤強化策を目標通りに実施・完了。 ✓ 日本製紙(株)との合併によるシナジーも確実にあげることができた。
	特殊素材事業	✓ 主力製品の技術・販売強化施策を幅広く実施。 ✓ 新製品の開発及び量産体制の準備が完了した。
	生活商品事業	✓ 古紙処理設備の新規導入による工程能力強化。 ✓ 食品対応のラミネート新製品の開発に注力。 ✓ タオルペーパーの環境対応製品、高機能製品の開発。
継続項目	特殊素材事業	✓ 新素材シートの製品化と拡販 ✓ 川下を含めた新市場探索
	生活商品事業	✓ 機能性を付与したタオルペーパーの開発

過去の連結数値と今中計(NEXT10)

第四次中期経営計画期間

単位:億円

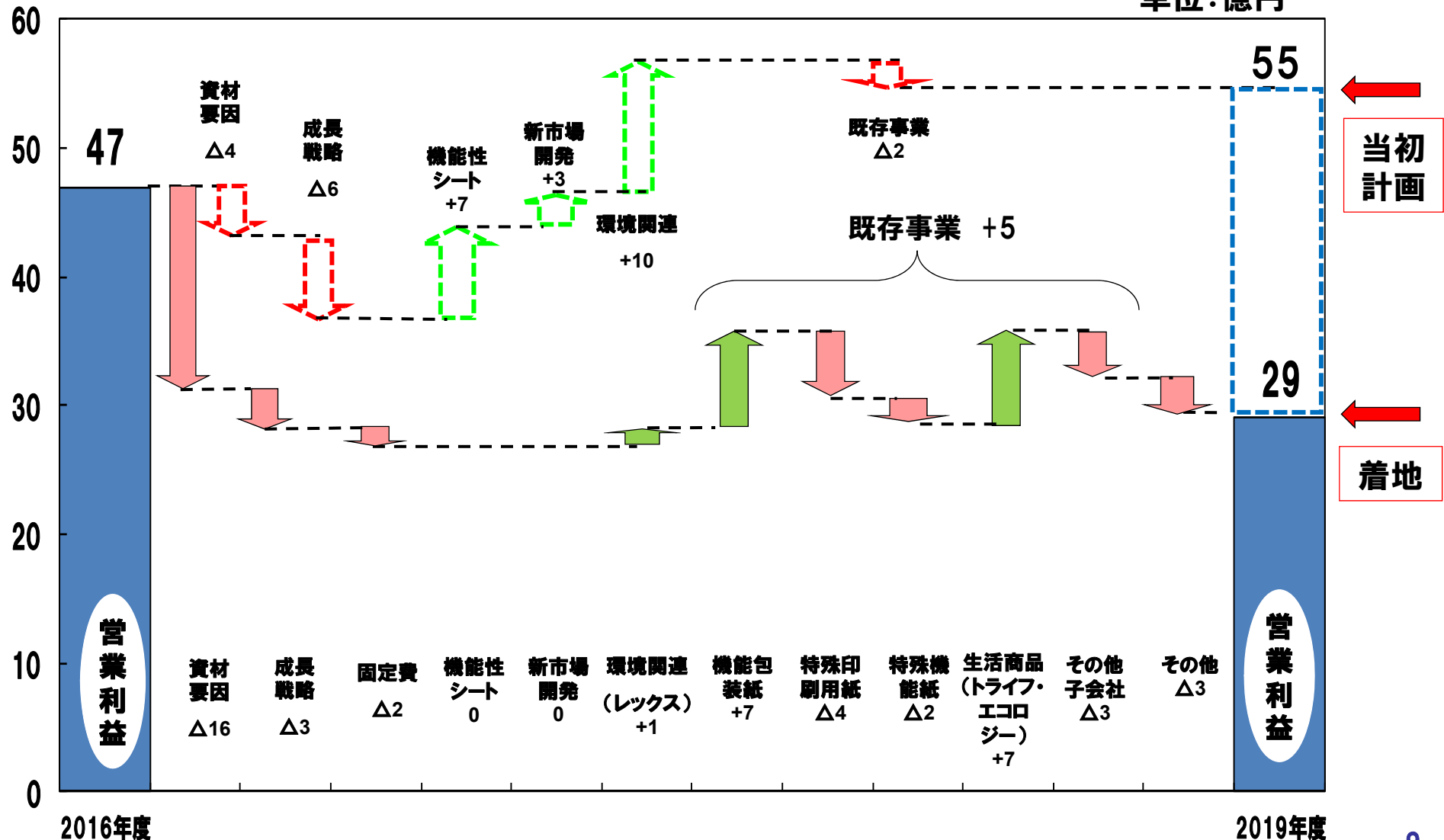
	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期 実績	2020/3期 中計最終 年度目標
売上高	777	791	819	806	850
営業利益	47	39	31	29	55
経常利益	51	32	54	54	—
営業利益率 (経常利益率)	6.1%	5.0%	3.8% (6.5%)	3.6% (6.7%)	6.5%
ROE	5.6%	3.3%	6.1%	5.2%	5.0~ 6.0%
TSR (株主総利回り)	156.4%	154.2%	156.6%	167.7%	—
政策保有株売却額	11	11	13	0	—

※ TSRは2015/3期末株価を基準に5年分の数値を記載

中計最終年度 営業利益 着地

- ✓ 基幹 3 事業の収益性が改善。一方で、パルプ等の資材要因が予測を大幅に上回るマイナス影響。
- ✓ 機能性シートの開発・拡販や新市場開拓、環境関連事業（リニア関連工事等）などが停滞。

単位: 億円





第5次中期経営計画について

第5次中期経営計画につきましては、新型コロナウイルス感染症収束後の事業環境等不確定要素が多いことから発表を延期することといたしました。延期後の発表日や発表方法 につきましては、決定次第、公表いたします。

ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



「基盤事業の強化・変革」



産業素材事業本部の基盤強化・変革

産業素材

NaSFA

① 高能率の生産体制維持による販社への利益貢献

- 板紙において、新東海製紙(島田工場)の高能率な生産体制が、販社であるNTIの利益に大きく貢献している。
- クラフト紙においても、堅調に生産量を伸ばしているUKPによって供給面で下支えを目指す。

(参考:UKP生産量)

提携直後 上半期 (2017年4月～9月累計)	直近実績 (2019年10月～2020年3月実績)	増加率
68,716	77,555 t	12.9%



② 社会背景に対応した新商品の開発

- 今後さらなる市場成長が予想される通信販売に関連して、**梱包向けの包装材料**の開発に着手。
- ポリエチの代替となる素材の需要が高まるなか、**再生クラフト紙**の開発を進めており、上市時期は未定であるものの、加工適性などの評価は良好な結果が得られている。

特殊素材事業本部の基盤強化・変革

特殊素材

NaSFA

① タント増色・厚物化によるファンシーペーパーのテコ入れ

- ・ ファンシーペーパーは出版業界低迷の影響を受けマーケットシュリンクに直面している。
- ・ 主力商品タントの**増色・厚物製品の投入**によりパッケージ分野の需要をクリエイトすることで、シェアの拡大に繋げる。

- ・ タントシリーズ全体で3年後
+1,000t/年 を目指す
- ・ 下期にTANT BOARD-F、
TANT KIRA を上市予定

ほしい色が、ここにある。
TANT 200 COLORS



TANT BOARD-F

連量300kg、高級感が求められる
パッケージなどに

TANT KIRA

キラキラと上質な光沢を帯びたTANT



② ガラス合紙改良による基盤強化

- ・ 液晶パネル生産の中心が韓国市場から中国市場にシフトする等、大きな変化のある中、ガラスメーカーとのコネクションを拡充し、顧客の要求にきめ細やかな対応をすることで世界シェアを維持拡大させていく。(トップシェアを守る)
- ・ ディスプレイ技術の進化と共に厳しくなる要求品質に対応するため、**継続的に品質改良に取り組み**、常に世界一の品質のガラス合紙を提供し続けていく。

生活商品事業本部の基盤強化・変革

～(株)トライフ 技術開発～

生活商品

NaSFA

✓ タウパー事業の進化

“量から質へ” = 機能性を付加した差別化商品の開発を推進

① 水解性タオルペーパーの開発

- ・ “トイレに流せる！ペーパータオル”
- ・ 特徴：濡れた手をふき取れる強度を確保しながらも水解性がありトイレに流せる。



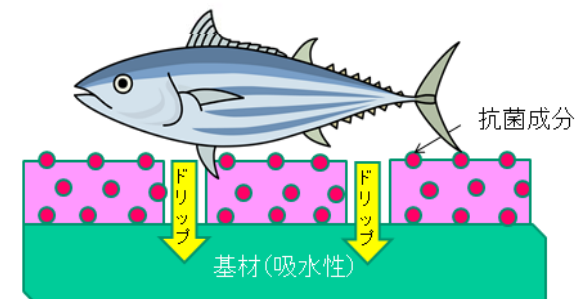
② 化繊混抄紙(クレープ紙)

- ・ 紙を主原料に化学繊維を配合して高機能性製品の開発。
- ・ ワイパー用紙として強度、伸縮性UP
- ・ トライフN2マシンで商品の高付加価値化に寄与



③ 食品向けの抗菌樹脂製品（特許出願予定）

- ・ 抗菌剤を樹脂に添加⇒鮮魚、肉の保存シート開発
- ・ ベースは自社クレープ紙のドリップ吸水紙





「成長戦略・海外戦略」



研究開発の成果

～紙を超えたシート状物の用途展開～

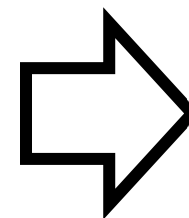
特殊素材

NaSFA

- ✓ 紙を超えたシート状物(= 非セルロース系シート状物)は開発完了
- ✓ 量産技術の確立 & 用途展開のステップへ

① 非セルロース系シート状物

- ・ 2019年12月 一部上市
- ・ 3年後 中計最終年度の売上8億円/年を目指す
- ・ さらに長期ビジョンでは売上30億円/年を目指し販売量を伸ばしていく

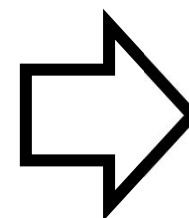


耐熱性

電気・電子分野

② 合成繊維 混抄紙

- ・ 2020年度一部上市予定
- ・ 輸送・建築材料・カード用途 等
- ・ 3年後 売上3億円/年を目指す



ヒートシール



高強度
寸法安定

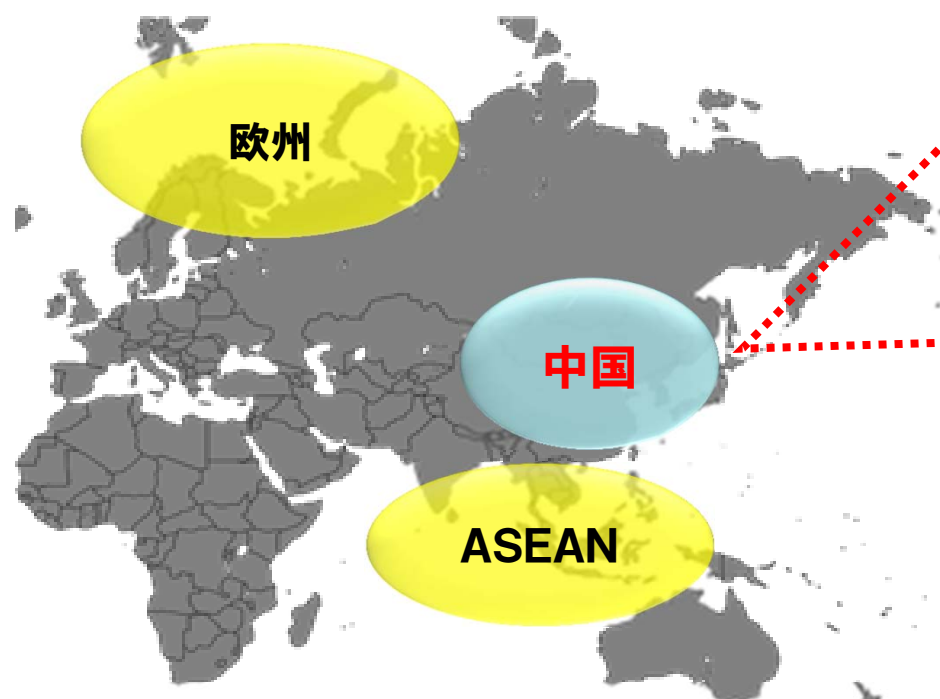
海外展開 ～ファンシーペーパー～

特殊素材

NaSFA

✓ 独自技術を活かした
専門性の高いアプローチを推進

✓ 中国市場における日本製ファンシー
ペーパーの存在感を強化



欧州 … オンリーワン技術による市場開拓推進中

ASEAN … 中長期視野及び将来分野における商機探索中

和紙楽活(KAMI Lab.)



【ブランド認知活動】

2019年度には展示会5
件講演会2件を実施。

(左写真)和紙楽活講演会
@北京印刷学院

绮綾紙

KIRINSHI

【新製品の開発】

2020年、織物調の両面エンボス紙を
Luxe Packにて発表予定。
汎用的な利用を図った新規デザインとなっ
ている。

新たな協業体制の模索

【国内商社・中国現地コンバーターとの協業】

ITの利用を含めた新たな流通形態の展開によりユーザーの利便
性を高め当社ファンシーペーパーの販売拡大を図る。

海外展開 ～保護紙・偽造防止用紙～

特殊素材

NaSFA

① 保護紙

✓ 最も市場成長を見込めるアジア地域でのシェア拡大を目指す

- ・ 中国では博物館関連で中性箱の使用が浸透しつつある。
- ・ 当社の強みである北京系 博物館系へアプローチを継続しつつ、新たなパートナーの発掘やFENKOを通じたアジアにおける
新市場の開拓に注力。



(右写真) 中性箱のイメージ

保護紙のアジア市場規模

中国約
10億円

日本約
5億円

台湾・東南アジア

※数値は保護紙製函ベースでの年間市場規模 当社推定値

② 偽造防止用紙

✓ 国内初の偽造防止技術を確立、 海外に向けた販売を開始

- ・ 海外向けセキュリティ封緘用紙として
2019年度から海外へ販売を開始。
- ・ 年間1億円を超える大型新商品。



(左写真) 蛍光繊維塗工

パッケージ分野の強化 ～パッケージ企画本部～

特殊素材

NaSFA

- ✓ 紙製品需要の新規開拓を図るため、「パッケージ企画本部」を新設
- ✓ 当社が培ってきた紙の高機能化のノウハウを武器に、パッケージ製品のサプライチェーン全域と連携し、新たなパッケージング市場の創出を目指す

～高機能化技術の集約および融合(共創)～



パッケージ分野の強化 ～新商品開発～

特殊素材

NaSFA

✓ 技術の組み合わせによる新たな付加価値の創造

新商品開発のイメージ

意匠性

×

機能性

=

意匠性を持った機能性
パッケージ用紙

意匠性に優れる
緩衝材

機能紙

×

特殊フィルム

=

機能性を持った
パッケージ用紙

バリア性の高い
包装材料

素材

×

素材

=

風合を残したパ
ッケージ用紙

新たな素材感を
付与

(株)トライフの成長戦略

生活商品

NaSFA

✓ プラスチックから紙へ プラスチック減量化商品 & 環境対応型商品の開発

環境対応を意識した商品の企画開発を継続中

- ・環境対応紙の拡大。(古紙品の【スノーク】追加)
- ・タウパーの外装用フィルムに植物由来の樹脂原料の検討
- ・印刷インキの水溶性化検討。



ラミネート環境対応樹脂の商品開発 (特許出願予定)

- ・植物由来素材の利用開発(脱石油由来素材)
- ・生分解素材の利用開発(微生物により分解される素材)
- ・酸化分解素材の利用開発(空気中の酸素で分解される素材)

ハイバリヤーコート剤・(紙+コーティング剤)

- ・耐水、耐油機能にガスバリアー性を付与して食品の保存性をUP。
- ・PVCD ・耐水耐油ハイバリヤーコート ・ヒートシール剤+耐水性コート

新型コロナウイルス関連商品の開発

NaSFA

✓ 新型コロナウイルス関連商品の開発

環境やユーザーニーズの変化に即応し社会に貢献する商品開発を行う

新型コロナウイルス対応商品の開発検討を開始した

素材

光触媒
(活性チタン)

抗ウイルス
機能塗料

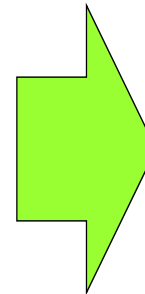
×

当社Gの
技術力

特殊機能紙研究
成果の蓄積

多様な塗工技術

ラミネート・タウパ
ー製造の技術力



当社グループのノウハウ
・技術力を結集して早期
の商品開発を目指す



「環境関連ビジネス」



環境関連ビジネス(資源再活用本部) ～(株)駿河サービス工業の子会社化～

環境関連

リサイクルビジネスの川上強化

(株)駿河サービス工業の子会社化

株式取得の時期:2020年1月

取得価額:約18億円

事業内容:一般及び産業廃棄物の収集運搬、処分業、建物解体業

事業領域の
拡大を目指す



産業廃棄物処理



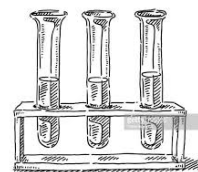
住宅・建物の解体

焼却灰の活用

さらに一步踏み込んだリサイクルへ挑戦



ボイラ焼却灰



成分分析



混練等の処理



土質改良等で再利用

環境関連ビジネス(資源再活用本部) ～(株)レックスのリサイクルビジネスの拡大～

環境関連

レックス既存事業の強化

RPF生産の
強化

長泉物流センター敷地内にRPF工場を新設

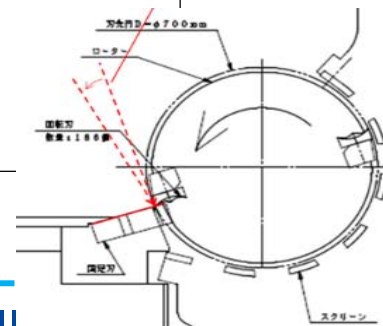
2020年3月稼働開始
三島工場10号ボイラーへの供給を強化する
廃プラスチックの有効利用を促進し環境に貢献する
下期から3-3制に移行し生産量UP
(上期約900t/月→下期約1400t/月)



※長泉物流センター内

島田工場増産に向けて破砕機改造計画

破砕機 固定刃の改良⇒RPF増産に寄与
下期から島田工場時間生産量UP
(5.37t/h → 5.60t/h)
月間約100tの生産量増に寄与



環境関連ビジネス(自然環境活用本部) ～社有林関連事業の分社化～

環境関連

目的

- ◆ 井川社有林におけるウイスキーなどBtoC事業のためには、BtoB事業である製紙業とは違う独自の視点が必要
- ◆ 井川地区に根差した企業として地域との協働による活性化をはかる

【概要】

商号	十山(じゅうざん)株式会社
事業内容	社有林管理、酒類等の製造・販売、娯楽・宿泊等施設の経営
分割の方式	簡易新設分割
設立年月日	2020年4月1日
所在地	静岡県静岡市葵区田代1301番地の1(さわら島)
資本金	90百万円(当社100%子会社)

※ロッヂや登山小屋は引き続き特種東海フォレストが運営



環境関連ビジネス(自然環境活用本部)

～ウイスキー事業の開始～

環境関連

- ◆ 井川社有林内に井川蒸溜所を建設
初期投資額 約11.4億円
- ◆ 2020年7月の仕込み開始予定
- ◆ 豊かな自然環境という立地を活かしたウイスキー事業は、製造面だけではなく蒸留所見学など観光事業との相乗効果も期待できる

ウイスキーのイメージ

- ◆ 品質重視
製紙業で培った有機物原料から一定品質の製品を作るノウハウを活用することで高品質な製品を安定生産する
- ◆ 自然を凝縮
井川社有林の自然、森を彷彿させるイメージ(香り)づくりを行う
- ◆ 長期熟成
長期熟成のシングルモルトウイスキーをめざす



大自然に抱かれた井川蒸溜所



据え付けられたポットスチル(奥:初溜 手前:再溜)



その他の取り組み



SDGsに関連する取り組み(1)

① 人財育成と多様な人財の活用推進

- 「2020年までしこ銘柄」に選定されたことを契機に、これまでの女性活躍推進・ダイバーシティ推進をさらに促進。同時に、すべての社員の働きがい向上のためのキャリア形成支援に注力する。



② 労働安全衛生と自然災害対策

- 「健康経営優良法人」の認定を受け、健康不安を抱えながら働く社員の支援や、メンタル不調予防対策など、健康経営体制の強化を継続。
- 各拠点の防災。減災害体制を見直し、自然災害の被害を最小限に止め、いち早く事業活動を再開できる体制を整備する。



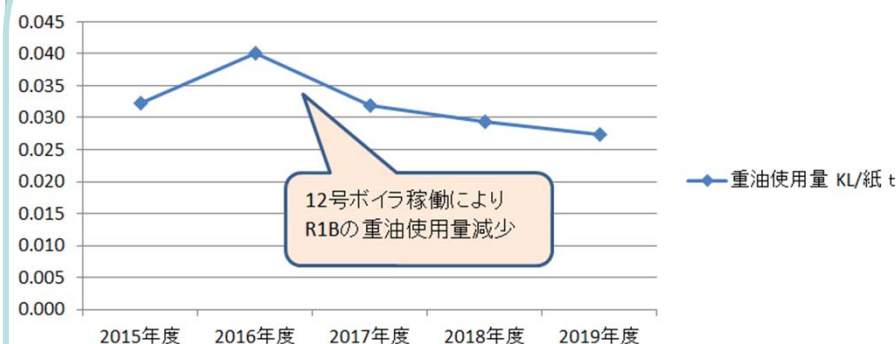
SDGsに関連する取り組み(2)

③ 設備改善による環境配慮

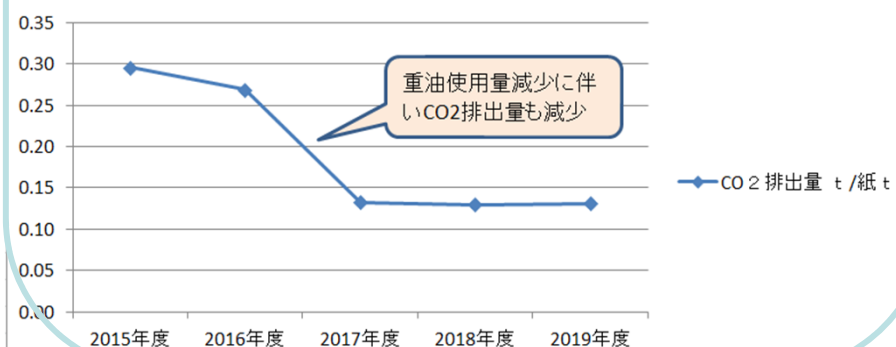
- バイオマスボイラの稼働（島田工場）、ボイラの容量拡大工事（三島工場）、ガスエンジンの稼働（三島工場）により、重油の使用量・CO₂の排出量を削減。

島田工場

島田工場：重油使用量(KL/紙t)の推移

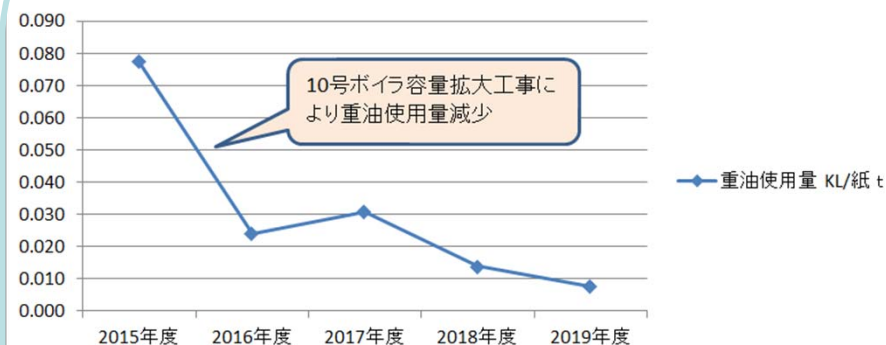


島田工場：CO₂排出量(t/紙t)の推移

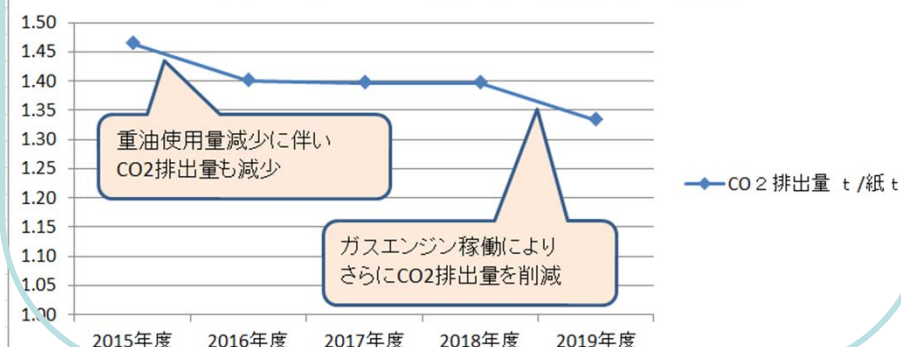


三島工場

三島工場：重油使用量(KL/紙t)の推移



三島工場：CO₂排出量(t/紙t)の推移



（ご参考） NaSFAについて

NaSFAとは

当社の商品開発に係る技術力を4つに分類したもの。
それぞれ以下の意味を表す。



① Na : Nano technology （ナノテクノロジーから広がる新たな可能性）
⇒紙の領域を超えたシート状物の開発

② S : Security （偽造防止技術によるグローバル展開）
⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入
⇒2020年東京オリンピックでの採用に向けた新規要素技術の開発

③ F : Fusion （技術融合による新市場の創造）
⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合

④ A : Art （新規加工技術による挑戦）
⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減



お問い合わせ先：財務・IR本部

〒104-0028

**東京都中央区八重洲2-4-1
ユニゾ八重洲ビル**

Tel 03-3281-8581

Fax 03-3281-8591

E-mail: fa.ir@s.tt-paper.co.jp

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。